

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成29年3月17日
調査研究事項	<p>≪委託研究Ⅰ≫</p> <p>【東大阪市立長栄中学校夜間学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導に関すること。 <p>【東大阪市立布施中学校夜間学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導に関すること ・戦争や差別、また諸事情により受けられなかった義務教育での学力を取り戻し、社会生活を営む上での自信と誇りを取り戻す。
調査研究のねらい	<p>【東大阪市立長栄中学校】</p> <p>本学級に在籍する生徒は年齢層も幅広く（20歳から80歳代）、国籍も多様（7ヶ国）である。日本での在住年数は、戦前からの日本生まれである高齢の生徒もいるが、渡日からの年数が新しい「新渡日」といわれる生徒数が増えているのが現状である。</p> <p>また、在籍年数の違いや渡日の経緯によって、生徒の日本語能力には大きな差がある。そのため生徒に対しての学習指導には様々な困難があり、生徒個々の状況に応じたきめ細かな指導が課題である。職員は教材作成に関して、互いに協力しながら調査・研究をしてきている。また地域に開かれた学校としてのスタンスのもと、様々な学習指導を通して、生徒が自己実現できる喜びや充実感を味わい、自らに誇りを持てる生徒に成長させたい。そのためには、地域住民を対象とする「オープンスクール」や「夜間中学校祭り」などもこれまで通り、継続実施していく予定である。そして、「生きた」日本語の表現力をみにつけ、実践することを研究の狙いとする。</p> <p>【東大阪市立布施中学校夜間学級】</p> <p>現在、様々な国籍や年齢層、様々な人生経験を経た生徒が、集まっている。本年度は、日本人生徒の新入生もあった。戦争時の疎開先でのいじめによる不登校、病気によって小学校も数年しか通えなかったなどの諸事情によるものである。</p> <p>生徒の表現力及び読む・書く力や日本語能力の向上を図ることをねらいとし、高齢の在日韓国朝鮮人生徒にふさわしい授業内容の改善と、日本語の習熟度を考慮に入れた新渡日の外国人生徒のた</p>

	<p>めの授業改善及び教材開発を進めることが課題である。</p> <p>国籍・年齢、生活歴、学習経験、文化などが多様化している集団の生徒ひとりひとりの理解を深めながら、状況に応じた効果的な指導方法・授業改善を研究する。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>【東大阪市立長栄中学校】</p> <p>本校では毎月、職員会議と各教科部会、校内研修、および、同じ市内にある布施中学校夜間学級との合同研修を位置付け、夜間学級における学習指導や生徒に対する配慮事項についての検討や研修に努めている。また、研修のみならず、本校独自の行事や布施中学校との合同行事等の日程の調整、内容の検討も行っている。</p> <p>本校が最も重きを置いている学習は文字の読み書きを通して自らを表現することである。外国人のように日本語が初歩的な生徒については、ひらがなやカタカナの学習から始めることになるが、学習内容の定着を図るために、繰り返し反復学習を重ねるとともに、視聴覚教材やICT機器の活用することで、その効果を高める工夫もしてきた。さらに、生徒個々に適した教材や指導法についても、同じ大阪府の夜間学級や他府県の夜間学級の教材などを参考に研修を重ねた。新渡日と呼ばれる外国人生徒が大半を占めるが、日本在住の長い高齢生徒(日本人、在日韓国朝鮮人、中国人生徒)や、既卒学び直しの生徒については、学齢期に学校に行けなかった経験や思い、戦前・戦後の混乱や被差別体験をひもとき、自らの言葉で文章化し、発表することに重点を置いてきている。例えば、本校昼の中学校や校区小学校、さらに校区にとどまらず、多くの小、中学校と交流会を実施し、あるいは、地域住民の文化祭や催しへの美術作品、書写作品等の出展も多く行っている。それは夜間学級の生徒の、自らの思いを表現する場としての活動成果の発表という目的と同時に、夜間学級での教育活動の発信という大切な役割を担っていると自覚している。そうした交流会や地域活動に参加することで、差別や戦争に反対し、平和で安らかな世の中・時代を望む夜間学級生徒の思いが、現代の若い児童、生徒たちや地域住民に感動や共感を与えていることが如実に見てとれる。また上にも書いたように、近年多い新渡日の外国人生徒との交流において、真の国際理解教育とも言える出会いにもつながっている。</p> <p>毎年、年度末にはその集大成として、それまでに学んだ日本語力で自らの思いや体験をつづるための作文指導を重視し、文集「おとなの中学生」としてまとめている。今年度は第30号の記念すべき冊子が出</p>

来上がった。この取り組みは、生徒個々の学習意欲の継続とその効果を判断するものであり、さらに文集を市内各学校に配布することで、教職員、児童、生徒に読んでもらい、夜間中学生の思いを伝え、夜間学級の存在意義を啓発するものにとらえている。また、文集に書かれた内容の中には、戦争を体験した者でしか語りえない貴重な体験もあり、「生き証人」として、今の児童、生徒たちに「平和の尊さ」や「学ぶことの意味や大切さ」を学習することができる資料ともなるものとする。

【東大阪市立布施中学校夜間学級】

【研修】

- ・月1回長栄中との合同研修
- ・夏の1日研修会(長栄との合同)
- ・月1回の教科研(生活・表現・民族・歴史・現代社会)
- ・月1回近畿夜間中学校連合研修(識字日本語委員会・日本語教材委員会・新渡日日本語委員会・生徒会顧問会・社会科部会・健康教育委員会)

【人権教育ゲストティチャー・交流会】

- ・オリニンウンドンフェでの作文発表
- ・昼の中3生からのオキナワ平和修学旅行報告会
- ・広島県基町小学校6年修学旅行交流会
- ・三ノ瀬小学校6年人権学習ゲストティチャー
- ・荒川小学校5年人権学習ゲストティチャー
- ・朝鮮文化に親しむ東大阪子どもの集い出演
- ・布施中昼の文化祭舞台発表・作品展示
- ・東大阪国際フェスティバル出店・舞台発表(長栄との合同)
- ・大東市立北条中1年人権学習(授業見学・交流会)
- ・全国夜間中学校研究大会に参加し意見発表(東京)
- ・東大阪市識字展作品出品
- ・平和と人権展作品発表
- ・東大阪市国語研究会作品発表
- ・東大阪市美術研究会作品発表
- ・東大阪市初任者・新規採用者研修で発表
- ・愛知県立大生人権研修10名(長栄と分割で)
- ・昼の中1生へのゲストティーチャー
- ・宮城県教育委員会視察

【進路】

今年度2名の生徒が大阪府公立高校全日制課程を受験予定
